

第 二 三 號



主任 務 局 課 大臣 官 房  
番 號 領 提 出 受 領 結 了

昭和 年 月 日  
昭和 年 月 日  
昭和 年 月 日  
昭和 年 月 日

十月 二十日


聯 帶 局 長

決 裁

主務局長

主務部長

主務課員

  
  
聯 帶 部 長


審 案 筆 記 者

大 臣



次 官



高 級 副 官



主 務 課 員

主 務 副 官



件 名 奉 還 武 州 縣 所 土 地 収 用 件

受 領 符

領 符

陸 軍 省 武 州 縣 所 土 地 収 用 符

名 稱

林 新 助

可 可 可  
可 可 可  
可 可 可  
可 可 可



正 月 二 十 日

次查了大東志卷傳區長、監考案

漢紀才三七卷、下、石、平、讓、土、州、縣、州、之、於、之、可、用

建、國、地、目、多、少、件、以、通、使、者、多、示、其、在、其、月

于、方、日、韓、漢、之、事、方、以、系、其、後、傷、了、解、以、其、事、相

克、復、後、之、事、了、其、條、後、解、其、以、何、之、信、了、其、事、其、具

格、利、之、理、保、元、以、其、事、有、之、信、了、其、事、其、具

、而、後、其、類、世、會、等、流、之、調、直、之、道、也、其、其、其、其

以、心、中、甘、了、也

次查、特、在、之、因、以、支、其、房、之、來、了、起、事、其、人

滿蒙發第一六三〇號

九月廿三日



陸軍省 陸軍部 第二十七三號第一

大本營 陸軍部 第二十七三號第一

明治三十七年九月十六日

大本營陸軍參謀次長長岡外史

陸軍省 陸軍部 第二十七三號第一

右の如く

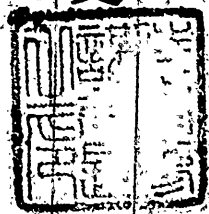
平壤、古州、瓦剌、字用、建業地、收用、カ、石、海

右の如く

陸軍省 陸軍部 第二十七三號第一



軍部 第二十七三號第一



陸軍省

取扱者

電報

九月十五日

午前午後

六時三十分發  
十時五十分着

大本營宛

在 京 城 駐 劄 軍 官

報告番号百〇四号

公使ト協議シ在ノ件取計ヒタリ

一 平壤、安州、義州ニ軍用建築用地トシテ

土地ヲ収用シ當該地兵站司令官ヲシテ之ヲ

韓國地方官ニ通告セシメタリ

二 軍用経路布設ニ因テ経路工事用トシテ

仁川港内大田月尾島全部一燈台ヲ附屬

建物及燈台用地ヲ除クニ必要ノ設備ヲ

實施スルコトヲ公使ヨリ韓國政府ニ通告ス



取扱者

電報

月 月 日 午前午後 時 時 分 分 著 發

宛 在

三京城、元山間、軍用鉄道、布設ヲナスコト及  
 今後ノ鉄道ハ、豆満口迄延伸スルコトアルハキ  
 ヲ以テ、此布設後、権我軍ニ保固シ置ク者ヲ  
 公使ヨリ、韓國政府ニ通告セリ

参照

日韓議定書

日韓兩國政府代表者、本月二十三日在、議定書

二 訓令

大日本帝國皇帝陛下ノ特命全權公使林權助及大韓帝國皇  
帝陛下ノ外務大臣以晴署理陸軍少將李址鎔、各相會、委任シ  
受ケテ、條款ヲ協定ス

第一條 日韓兩國間、恒久不易ノ親交ヲ保持シ東洋ノ平和ヲ  
確立スルニ為メ大韓帝國政府ハ大日本帝國政府ヲ確信シ施政ノ  
改善ニ關シ世忠告ヲ容ルルコト

第二條 大日本帝國政府ハ大韓帝國ノ皇室ヲ確實ニ親誼ヲ  
以テ安んずルニシムルコト

第三條 大日本帝國政府ハ大韓帝國ノ獨立ヲ保全シ保護ス

任陸スルコト

第四條 第三國ノ侵襲ヨリ若ハ内亂ノ爲メ大韓帝國ノ皇室

安全或ハ領土ノ保全ニ危険アル場合ハ大日本帝國政府ハ

速ニ臨時必要ノ措置ヲ取ル可シ而シテ大韓帝國政府ハ右

大日本帝國政府ノ行動ノ容易ナラシムルタメ十分便宜ヲ與フ

ルコト

大日本帝國政府ハ前項ノ目的ヲ達スル爲メ軍略上必要ノ地盤ヲ

臨時收用スルコトヲ得

第五條 兩國政府ハ相互ニ承認シテ後述ノ協約ノ意思

ニ達スルヘキ協約ノ第三國トシテ訂立スルコトヲ得ザルコト

第六條 本協定、開闢スル者悉ク何條ニ大日本帝國代表者ト

大韓帝國外部大臣トノ間ニ臨機協定スルコト

明治三十七年二月二十三日 特命全權公使林權助印

光武八年二月二十三日

外部大臣臨時署理陸軍少將

李址傑印



日韓協約 三月二十一日日韓兩國政府代表者にて、協約、調

印セリ (四月二十七年九月五日、下野新聞掲載)

一、韓國政府は日本政府を推薦する日本人一名を財政顧問として

韓國政府に備聘し、財政、關税、事務、總て其意見を詢し

施行スヘシ

二、韓國政府は日本政府ノ推薦スル外國人一名ヲ外交顧問トシ

ニ、外部ノ備聘シ外交ニ關スル要務ハ總テ其意見ヲ詢

ト施行スヘシ

三、韓國政府ハ外國トノ協約俾任其必重要スル外交案件即

外國人ニ對シテ特權讓與者、契約等ノ處理ニ關シテ

條約

3114

ハ 稱 日本 政府 ト 協 議 ス べシ

山崎海舟の遺稿

十百三十一

海舟

陸軍大臣の遺稿

3118

別紙用清三件及市遊  
御候也

明治三十七年二月廿八日

大山参謀總長

寺内陸軍大臣殿

陸軍省